

北郷中 学校だより

きたごう



教育キーワード
「聞き」考え」
「行動する」

夏季休業期間の生活について

生徒指導主事

相澤秀彦



新たな出会いと、部活動や行事で仲間とのきずなを育んだ一学期が終わり、いよいよ三十七日間の夏季休業期間が始まります。保護者の方の実家への帰省、地域のイベント、旅行の予定等を思い描いて、わくわくしている人も多いことでしょう。三年生にとっては「勝負の夏」ですから、学習に励み、体験入学などを通して受験生として進路に対する思いをさらに強めていくことでしょうか。

さて、この「夏季休業期間」は何のためにあるのでしょうか。一番暑い時期だから、自主学習時間の確保のため、はたまた思い出づくりのため……。色々な理由が考えられます。私は「夏季休業期間だから

こそできること」を探して、価値ある経験をするためだと考えています。あの生徒は、夏のしおりの計画に「一学期の授業で学習に遅れが出てしまったところを取り返し、苦手分野を克服する」と書いてありました。また、ある生徒は、「実家に帰省して祖父と祖母に会う」と書いてありました。「理科研究のテーマ追究を頑張る、三年間で一番の内容にする」と書いていた生徒もいました。どれも学校がある日にはなかなか取り組めないことではないでしょうか。また、普段よりも家庭や地域で過ごすことが増える時期でもあります。ボランティアや家庭でのお手伝いなど、感謝の気持ちを行動に表していきましよう。

大切にしてほしいこと

充実した夏にするために、ぜひ大切にしてほしいことがあります。それは、「命」を大切にすることです。毎年、夏休み期間になるとテレビや新聞で子供が事件や事故に巻き込まれてしまったという悲しいニュースを耳にします。みなさんの一人としてそのような目に合わないために、次の五つのことを必ず守ってください。

- ①川や海など、水に関わることは十分に注意する。川は突然の増水、海は引き潮などで被害にあうことが多くあります。警報が出されたときや立ち入り禁止区域には絶対に入らないようにしましょう。
- ②外出のルールを守る。五時には帰宅準備、六時には在宅しているようにしよう。夏祭りでは九時半には家に戻る。
- ③交通安全を心がける。自転車に乗るときはヘルメットを着用する。休日で交通量が増えます。いつも以上に注意をしてください。
- ④SNS、スマートフォンの使い方には十分に気をつける。スマートフォン

などの機器は保護者に与えられて、その管理下で使用できるものです。保護者に見せられないことは発信・受信しないこと。

⑤外泊や子供だけで立ち入りしてはいけないところ、危険が予想される場所には入らない。集団で行動していると、気が大きくなって、一人ではしないようなことをしてしまうことがあります。ダメなこととはダメという勇気を持ちましよう。

ここに挙げたこと以外にも、身の周りには様々な危険が潜んでいます。休みで気が緩み、「これぐらい大丈夫」という思いがきっかけで大きな事件や事故につながる可能性があります。目標をもって充実した日々を過ごし、心に「すき」を作らないようにしましょう。

みなさんが加害者にも被害者にもなることなく、北郷中生一三〇人全員が元気に二学期の始業式に登校することを願っています。たくさんの方の経験を通して、一回り成長したみなさんとまた会えることを楽しみにしています。